



妻西中キャラ めにしちゃん

学び磨き鍛える

正しい判断力とたくましい実践力を
もった妻沼西中生を育む学校

発行 熊谷市立妻沼西中学校
電話 048(588)1362
FAX 048(589)0496
令和7年5月19日
第6号

学校だより

伝統芸能について～間々田万作おどり、実盛慕情～

校長 清水 利浩

【間々田万作おどり】

3月の末に男沼小学校で行われた公民館まつりに参加しました。そこでは、間々田万作おどりが披露され、地域のこどもたちが、間々田万作踊り保存会の方々と一緒に、しっかりとしたおどりを見せていました。間々田地区は、かつては利根川の水運にも恵まれ、昔から養蚕、米麦等の豊かな生産地です。万作おどりは、江戸時代の中ごろから続く庶民の伝統



芸能で、間々田にある稲荷神社のお祭当日、神事の後の奉納行事として、五穀の豊かなみのりを祈願し、神さまに感謝するために行われるようになったそうです。



【実盛慕情】

4月中旬、聖天さまのお祭りに合わせて、妻沼西中と妻沼東中の剣道部の生徒が中心となって、詩舞「実盛慕情」を奉納しました。この舞は、斎藤別当実盛公敬仰会の皆さんが、石川県加賀市にある実盛塚を訪れた際に、地元中学生による、実盛を

偲ぶ詩舞「篠原慕情」に深い感銘を受け、これが「実盛慕情」誕生の発端となっています。平成5年にこの舞が創られ、藤間勘蓉先生のご指導のもと、しっかりと受け継がれています。

伝統芸能とは、日本に古くから伝えられてきた能楽、文楽、歌舞伎などの演劇や音楽のことをいいます。伝統芸能は、長い歴史と伝統の中から生まれ、守り伝えられてきた地域の大切な財産です。そして、将来にわたって継承し、発展を図っていく必要があるものです。日本各地にはこうした伝統芸能がたくさんあります。妻沼西中学区にも、まだまだ多くの伝統的な芸能があります。こうした伝統芸能について、私たちは知ることも大切ですし、また、受け継いでいく担い手になっていくことも大切です。

<参考資料> ・文部科学省、文化庁のHP ・埼玉県、熊谷市のHP ・『くまがやの文化財と文化遺産』熊谷市立図書館 R7.3